



当院の働き方改革の取組(看護職員)

『看護職員』の負担軽減及び処遇の改善計画(令和7年度)

現状・問題点	対応方針	具体的な計画
看護職員の負担軽減及び処遇の改善計画		
夜間における看護業務の負担軽減に資する業務管理等に関する項目の実施	夜間を含む交替制勤務に従事する看護要員の勤務間インターバル(11時間以上)の確保	○看護職員の人員需要について継続して分析を行う ○看護職員の適正な人員を配置できるように採用を継続 ○夜勤可能者を確保し、夜勤回数の負担軽減を図る
	夜間を含む交替制勤務に従事する看護要員の連続して行う夜勤の数の制限(2回以下)	
	看護補助者の適正配置	○時間給ベースアップや新たな募集活動を行い、看護補助者の適正人数を確保 ○看護補助のキャリアパス/ラダーの整備を検討
	院内保育所の充実	○情報共有を行い働きやすい環境を整備 ○引き続き、満足度の向上とサービス・体制の充実を図る
予定入院患者の情報収集、説明事務についての業務軽減	入退院支援センターにおいて、入院前から退院支援まで一貫したサービスを提供しつつ、各科外来・病棟における看護業務の軽減を図ること	○他部署から提供された入院案内動画を当センターだけでなく、各科外来・病棟でも利用可とすることで負担軽減を図る
	患者支援の総合窓口として、医事部門や患者相談部門の統合も視野に入れ、患者サービスの向上と併せ、業務の効率化による看護職員の負担軽減を図ること	○組織体制について関係部門との協議・検討を継続
時間外勤務の要因となっている看護記録等に係る事務の効率化	患者状態適応型パスシステム(PCAPS)の効率的な運用	○適切な患者状態適応型パスを行うための仕組みを継続 ○患者状態推移条件の作成にスピード感をもって取り組む
	患者説明における質の向上と看護職員の負担軽減を図ること	○定型的な説明内容等の効率的な動画活用の運用を検証